

**平成20年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰
国土交通大臣賞ならびに協議会会長賞の受賞について**

本日開催された「平成20年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」において、当社島根原子力建設所が、「株式会社エネルギア・エコ・マテリア」、「島根原子力発電所大型ブロック製作工事 大成・間・中国高圧・鴻池・竹中・不動テトラ共同企業体」と共同で『国土交通大臣賞』を受賞するとともに、当社流通事業本部が『リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞』を受賞しましたのでお知らせします。

この賞は、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 ※1が、循環型社会の形成に向け、3R(リデュース・リユース・リサイクル)に率先して取り組み、顕著な実績を挙げている個人、グループ、学校、事業所等を表彰し、活動を奨励する目的で実施しているものです。

今回、国土交通大臣賞を受賞した「リサイクルコンクリートによる大型消波ブロックの製作」では、島根原子力発電所3号機増設工事の護岸工事に使用するテトラポッド等の大型消波ブロックの製作にあたって、発電所から出る石炭灰等をリサイクルしたコンクリートを使用したことなどが評価されました。

また、協議会会長賞を受賞した「石炭灰を用いた河川底質改善技術の開発と普及拡大に向けた取り組み」では、国土交通省太田川河川事務所の協力のもと、広島大学と共同で進めてきた石炭灰のリサイクル材を活用した河川底質改善技術の研究開発や、河川での実証試験などの活動が評価されました。

(「石炭灰を用いた河川底質改善技術の普及拡大に向けた取り組み」については、[平成20年4月10日報道発表済み](#))

当社は、循環型社会の形成に向け、ゼロエミッション ※2の達成を目指し3R活動を進めておりますが、今回の受賞を契機として、今後より一層の取り組みを推進してまいります。

以上

<添付資料>

 [リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰受賞の概要 \[PDF:276KB\]](#)**※1リデュース・リユース・リサイクル推進協議会**

行政・消費者・産業界等が連携してリサイクルを推進することを目的に、平成3年9月に「リサイクル推進協議会」として設立。平成14年6月に、これからの資源・廃棄物問題を解決するためにはリサイクルのみならず、3Rを通じた循環型社会の構築が必要であるとの認識を踏まえ、「リデュース・リユース・リサイクル推進協議会」と改称し、3R推進のための啓発・普及活動を実施している。

(事務局:財団法人クリーン・ジャパン・センター、財団法人日本環境協会)

※2ゼロエミッション

あらゆる廃棄物の有効利用を図り、埋め立て処分量をゼロに近づけていく活動で、当社は、「事業所から発生する一般・産業廃棄物の総排出量に対する埋め立て処分量の割合を1%以下とする」ことを目標にしている。

リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰受賞の概要

【国土交通大臣賞受賞】

- 件 名：「リサイクルコンクリートによる大型消波ブロックの製作」
- 受賞者：中国電力株式会社 電源事業本部 島根原子力本部 島根原子力建設所
株式会社エネルギー・エコ・マテリア
島根原子力発電所大型ブロック製作工事 大成・間・中国高圧・鴻池・竹中・
不動テトラ共同企業体

○概 要

原子力発電所の護岸工事，防波堤工事に使用するテトラポッド等の大型消波ブロック（重さ約 20t～80t，8,740 個）をリサイクルコンクリートで製作した。

このリサイクルコンクリート「NAクリート※（Neo Ashクリート）」は，材料の約 90%を当社三隅発電所（石炭火力）から排出される石炭灰や，工場で銅や鉄を精錬する際に生じる廃棄物である金属スラグ等のリサイクル材料を使用することで，セメント・砂・砂利等の天然資源の使用量を削減した。

また，水道水の代わりに海水を使用することで，水道水の使用も削減している。

○リサイクルコンクリート（NAクリート）使用による効果

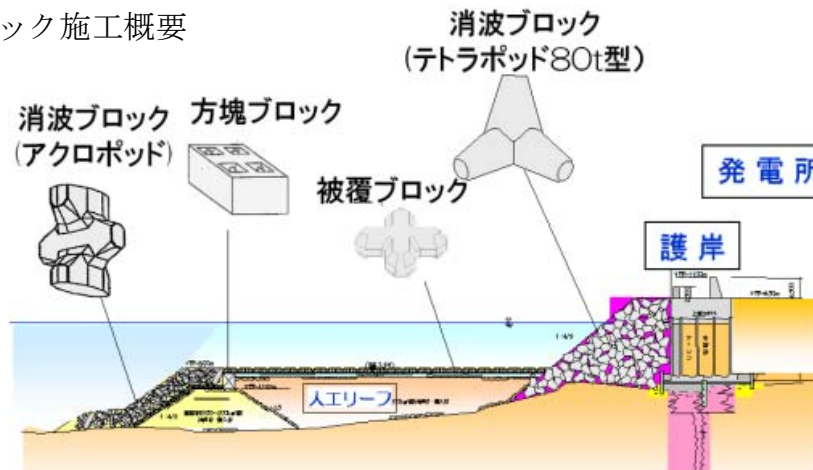
〔廃棄物の削減〕

石炭灰	約 10 万 t
銅スラグ	約 2.6 万 t
鉄鋼スラグ	約 10 万 t

〔省資源〕

セメント・砂・砂利等	約 4.6 万 t
水道水	約 5.3 万 m ³

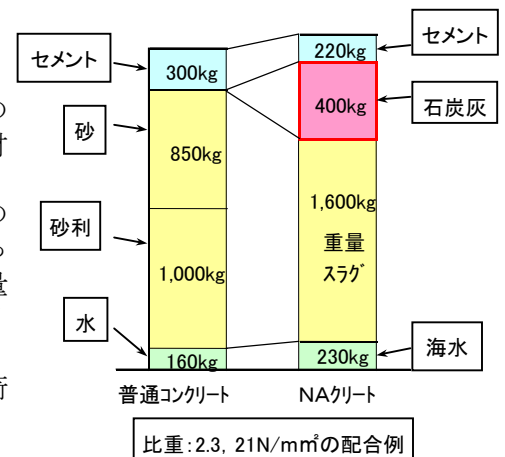
○大型ブロック施工概要



※ NAクリート（Neo Ashクリート）

NAクリートは，当社と株式会社間組が共同開発した，材料の約 90%を石炭灰やスラグなどの産業廃棄物を利用した新素材リサイクルコンクリート。経済性に優れると同時に，高強度・高品質で耐磨耗性にも優れる。特に海水と接する場所では普通のコンクリートが劣化するのに対し，更に強度増進する特性を持っている。また，骨材の種類や混入量を変化させることで，軽量から重量コンクリートまで自在に製造できる。なお，低アルカリ性であるため，海生生物の生息環境にも優れる。

現在，グループ会社であるエネルギー・エコ・マテリアが技術サポートを含めた普及を行っている。



【リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞受賞】

○件 名：「石炭灰を用いた河川底質改善技術の開発と普及拡大に向けた取り組み」

○受賞者：中国電力株式会社 流通事業本部 土木事業推進担当

○概 要

干潮時に現れる干潟の泥化が進むことで生じる河川の浄化能力の低下や、貝類などの生物生息環境悪化といった問題に対応するため、当社大崎発電所（石炭火力）から発生する石炭灰のリサイクル材である「Hiビーズ[®]（ハイビーズ）」を活用した河川底質改善技術の研究開発を進めるとともに、河川での実証試験を進めている。

「Hiビーズ」を用いることで石炭灰の有効活用が図れるほか、従来の河川底質改善方法であったヘドロの浚渫を行わないため、建設汚泥のリデュースにつながる。また、掘削で発生したヘドロを覆砂の材料としてリユースすることで、これまで覆砂材料として用いられてきた川砂の使用量を約8割削減でき、建設材料のリデュースが可能となる。

○Hiビーズ使用による効果

〔廃棄物の削減〕

石炭灰 約30t

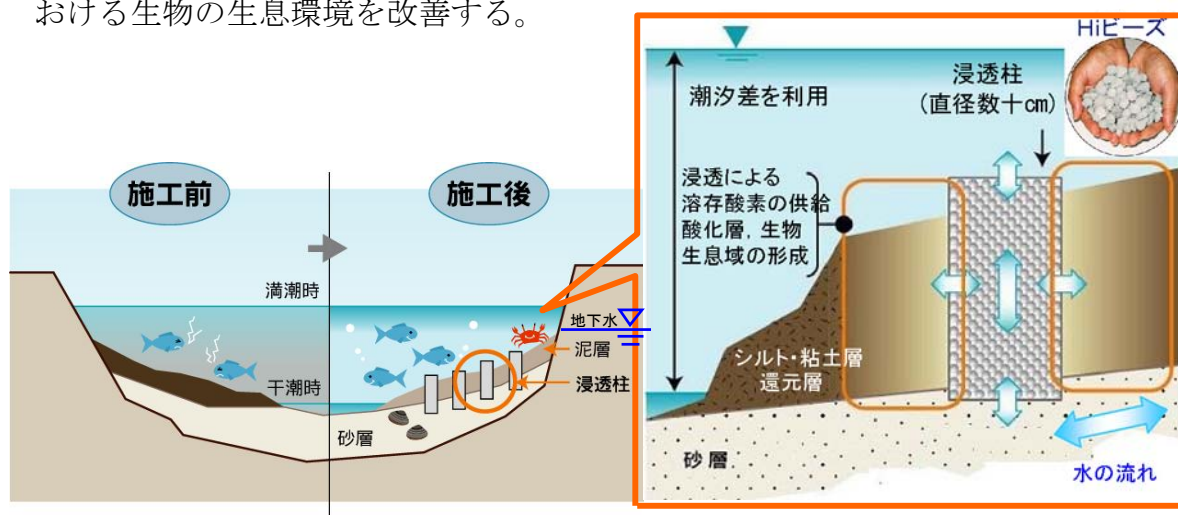
建設汚泥 約10t

〔省資源〕

砂・砂利等：約40t

○浸透柱による河川底質改善技術

ヘドロ化している干潟にその下層にある砂層まで達する直径数十cmの穴を開け、その中に「Hiビーズ」を投入し、周囲の底土に比べ透水性の高い柱（浸透柱という）を形成することで、水の循環、底土への酸素供給を促進させ、干潟における生物の生息環境を改善する。



※ Hiビーズ(ハイビーズ)

火力発電所から発生する石炭灰を粒状に加工したもの。瀬戸内海において採取禁止・規制が進められている海砂の代替材として、主に地盤改良材と護岸工事や覆砂工事に用いられており、グループ会社であるエネルギー・エコ・マテリアが製造・販売している。

以 上